

お知らせ

記者発表資料
配布日時

令和4年10月6日
14:00

■同時発表先:

合同庁舎記者クラブ・鳥取県政記者会・島根県政記者会・岡山県政記者クラブ
広島県政記者クラブ・山口県政記者クラブ・山口県政記者会・山口県政滝町記者クラブ
中国地方建設記者クラブ

令和4年9月19日（台風第14号）の雨による河川の状況等を取りまとめました。

～中国地方整備局管内の出水概況【第2報（最終報）】～

台風第14号による中国地方の降雨、河川の水位、浸水被害や中国地方整備局の対応状況等を取りまとめました。

【資料の特徴】

- ・ 主な河川における出水概要のほか、直轄管理ダムの洪水調節状況、河川の被害状況・対応状況、治水事業の効果等を確認できます。

【資料の掲載場所】

- ・ 中国地方整備局ホームページ（中国地方整備局管内の出水概況）
<https://www.cgr.mlit.go.jp/kisha/202210/221006-kasen1.pdf>

【主な内容】

- ・ 気象及び出水の概要
- ・ 主な河川における雨量・水位の状況
- ・ 被災状況について
- ・ 避難に係る情報提供・被災状況調査
- ・ 治水事業の効果について 等

※本資料の数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります

【問い合わせ先】

国土交通省 中国地方整備局

☎ (082) - 221-9231 (代表) (平日昼間)

河川部 河川調査官

にし
西

ひろ
博

ゆき
之

(内線 3513)

河川計画課長

おお
大

やま
山

り
璃

く
久

(内線 3611)

令和4年9月19日出水(台風第14号)

中国地方整備局管内の出水概況【第2報(最終報)】 10月6日(木) 14時現在



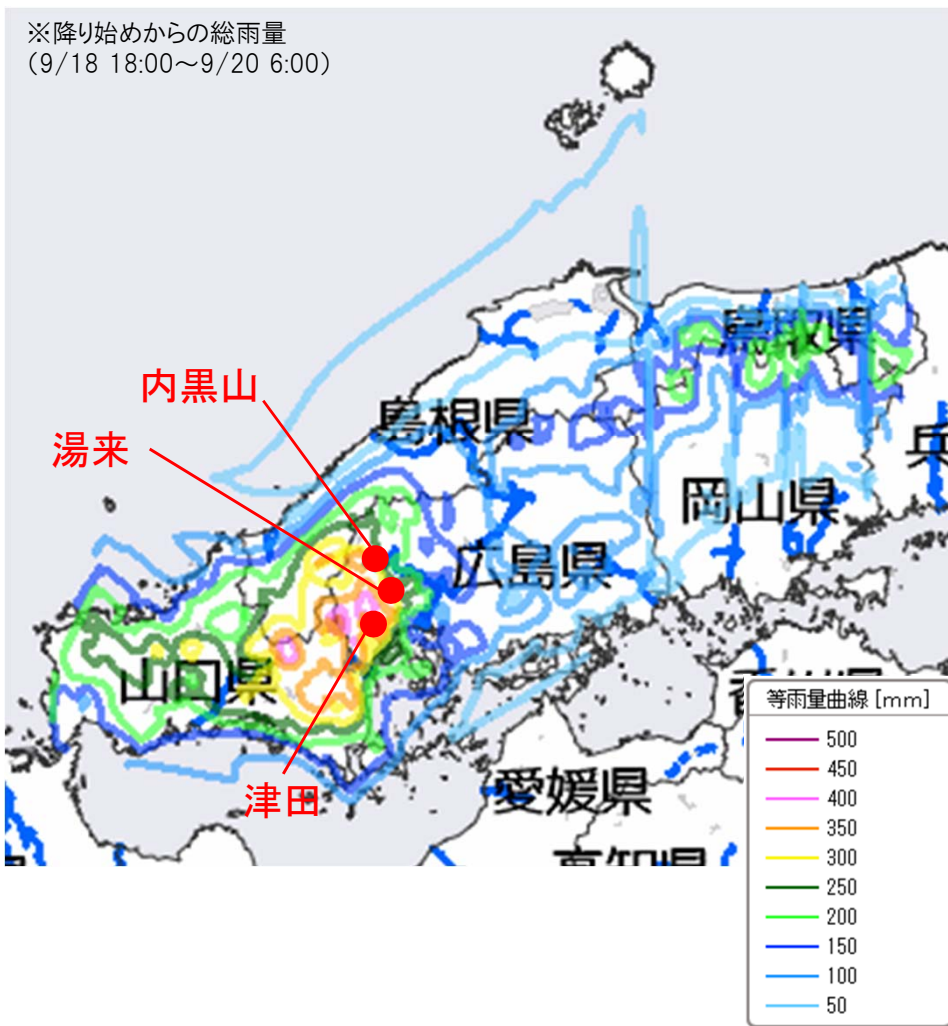
1. 気象及び出水の概要

気象概要

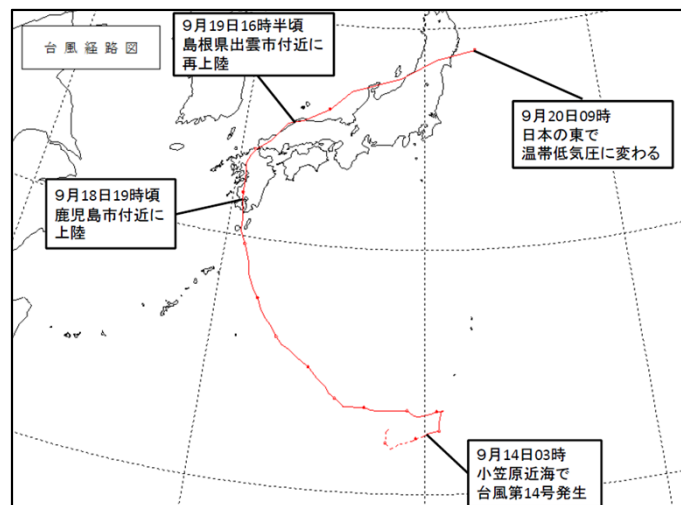
- 令和4年9月14日に発生した台風第14号の接近により、9月18日から九州や中国、四国地方をはじめとした西日本から東日本に至る広い範囲で激しい暴風雨が生じた。
- 台風が広島県付近を通過した際の最大風速は9月18日に三原市本郷で18.0メートル、最大瞬間風速も三原市本郷で27.8メートルで、台風を取り巻く発達した雨雲により広島県内ではところにより非常に激しい雨が降った。
- 降り始めの18日13時から20日11時までの降水量は、安芸太田町内黒山で388.0ミリ、廿日市津田で369.5ミリ、広島市佐伯湯来で287.5ミリなど平年の9月1か月分を超えるところもあり、記録的な大雨となった。

■ 等雨量線図 【国土交通省作成】

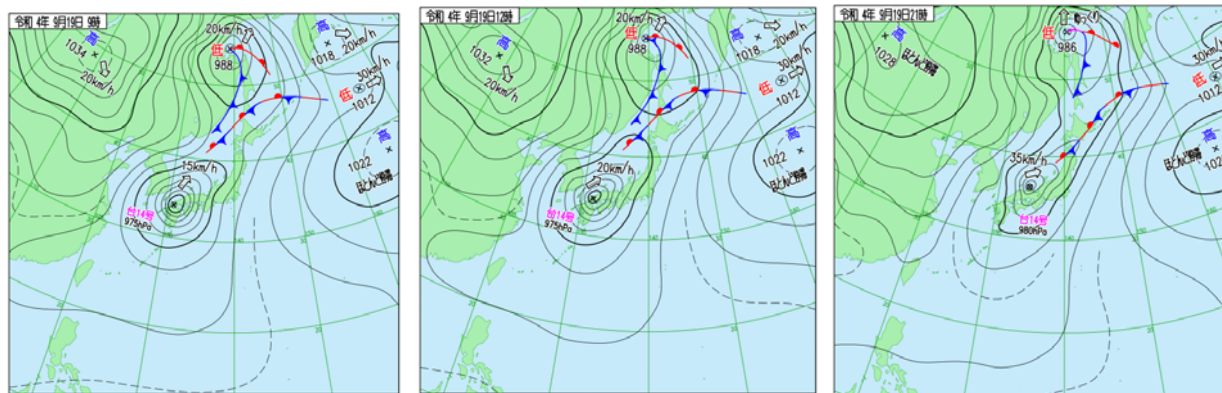
※降り始めからの総雨量
(9/18 18:00~9/20 6:00)



■ 台風経路 【広島地方気象台 気象速報より】



■ 実況天気図 【気象庁HPより】



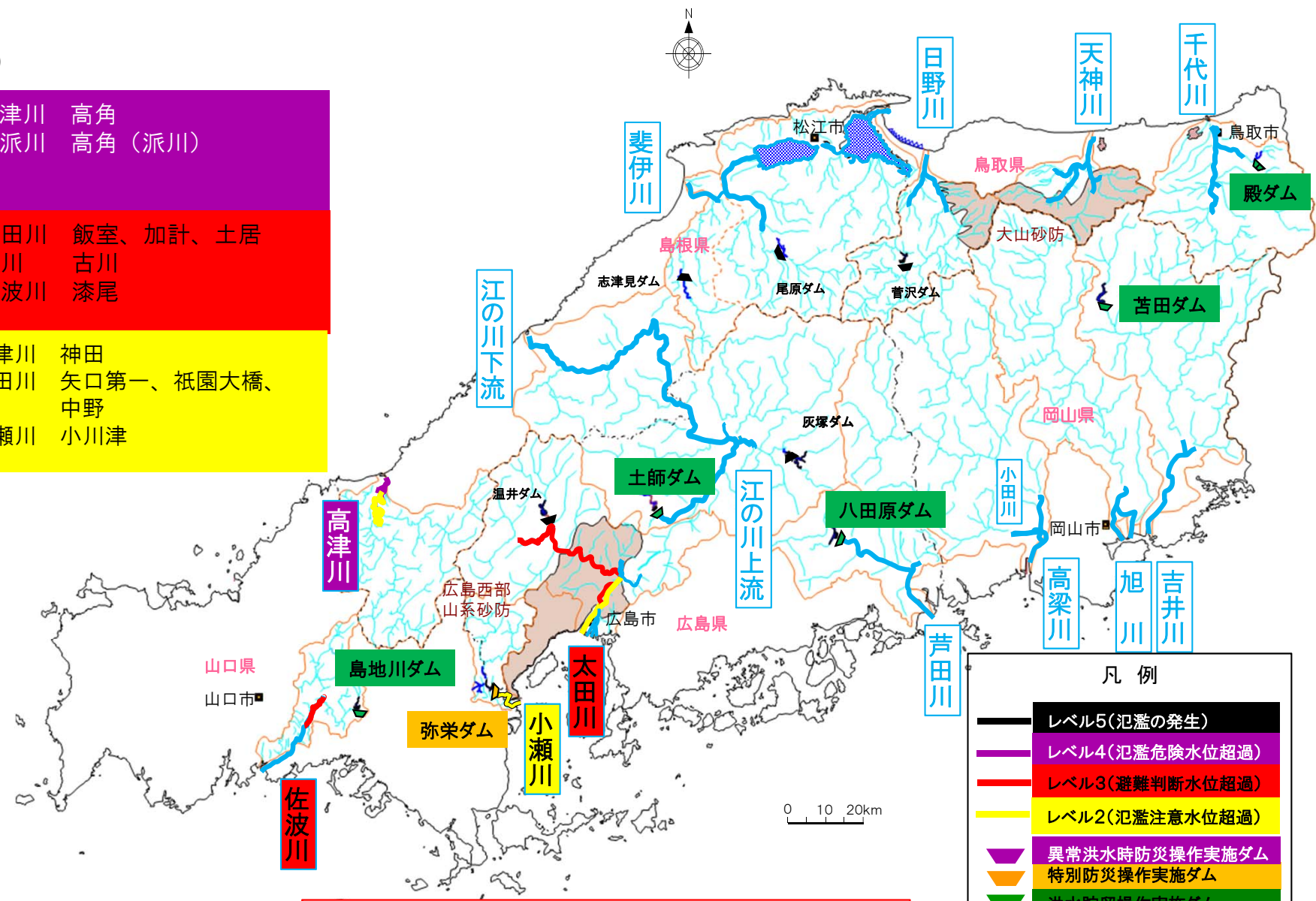
※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

国管理河川の状況

■ 今回の出水では国管理河川において 1 水系 2 河川 2 観測所で「氾濫危険水位」を超過、 2 水系 3 河川 5 観測所で「避難判断水位」を超過しました。

■ 河川出水状況（国管理区間）

★レベル4 氾濫危険水位超過 1水系2河川 2観測所	高津川水系高津川 高津川派川	高角 高角（派川）
★レベル3 避難判断水位超過 2水系3河川 5観測所	太田川水系太田川 古川 佐波川水系佐波川	飯室、加計、土居 古川 漆尾
★レベル2 氾濫注意水位超過 3水系3河川 5観測所	高津川水系高津川 太田川水系太田川 小瀬川水系小瀬川	神田 矢口第一、祇園大橋、 中野 小川津



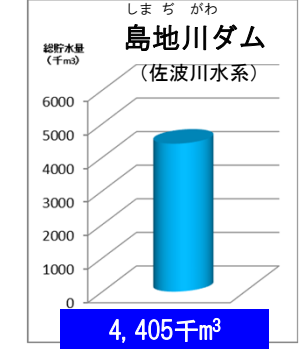
※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

管内の国管理ダムによる洪水貯留

- 洪水貯留を行った管内の国管理11ダムで、約47,700千m³（東京ドーム約38杯分）の洪水を貯留し、下流河川の流量を低減しました。
- 特に、弥栄ダムでは、ダム下流の更なる被害軽減のため、気象予測を活用し、ダムの空き容量を可能な限り有効活用する**特別防災操作***¹を実施しました。
- また、島地川ダムでは、大雨が予測される場合に、事前に放流し、ダムの空き容量を確保する**事前放流***²を実施しました。また、管内の県管理ダム・利水ダムにおいても事前放流を実施しています。（全35ダム）

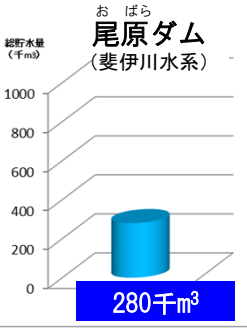
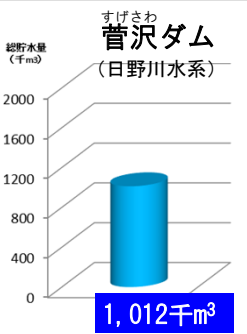
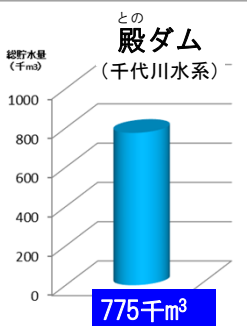
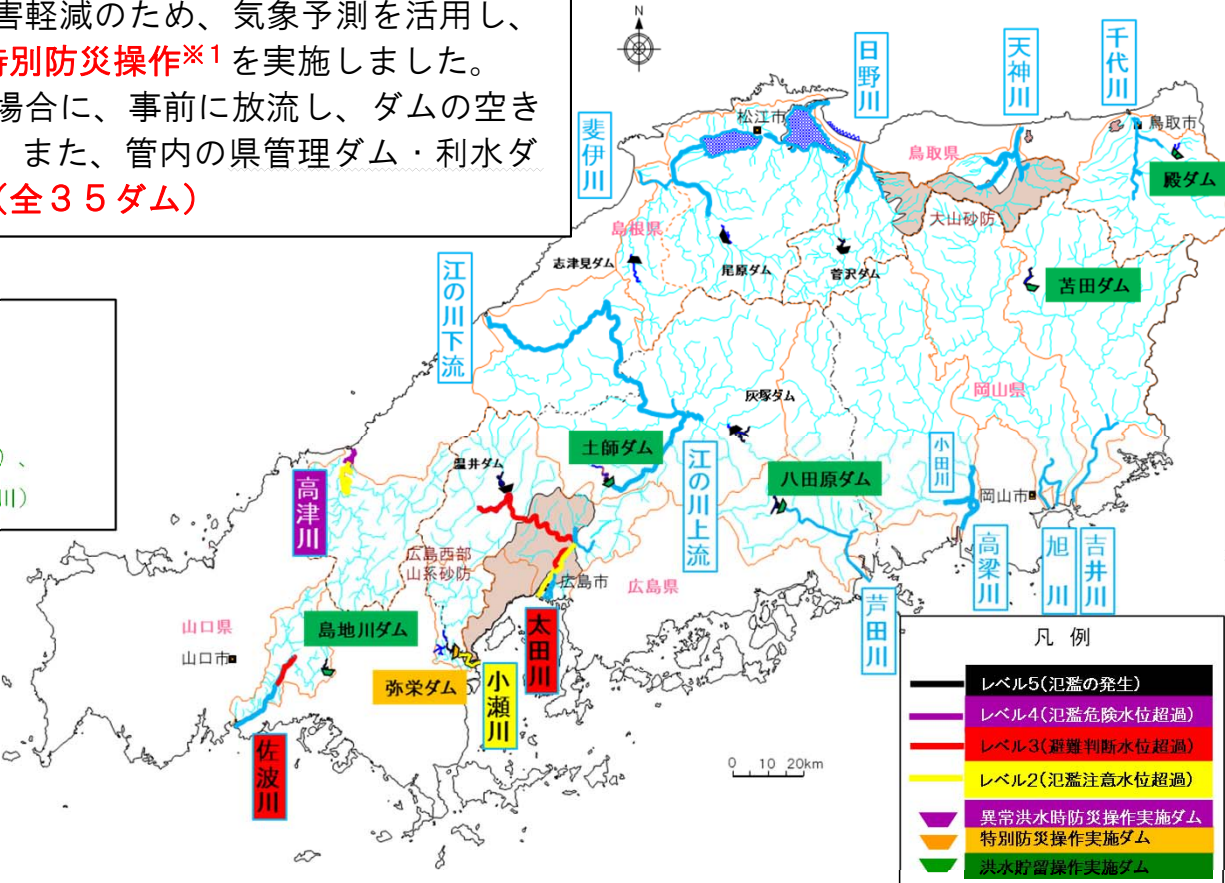
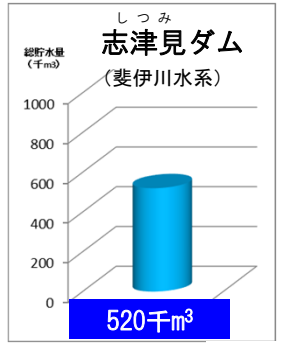
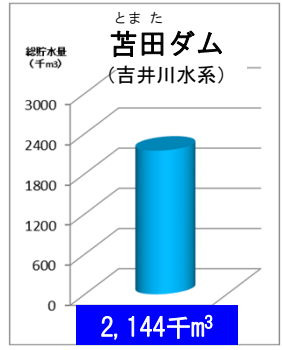
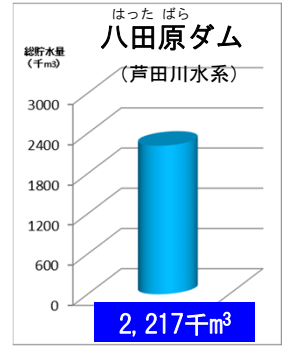
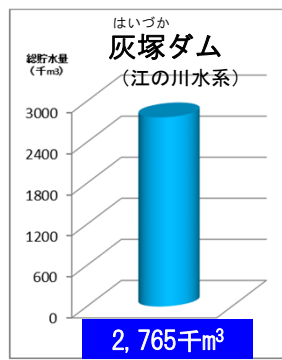
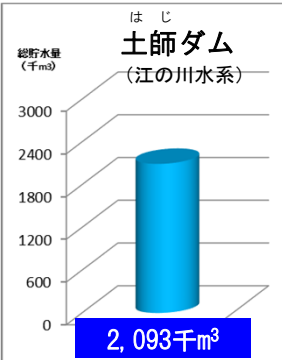
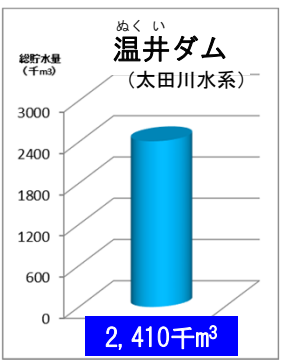
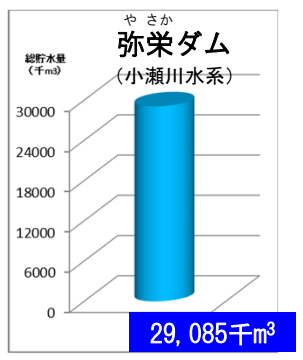
洪水貯留状況（国管理ダム）

- ★特別防災操作<1ダム>
弥栄ダム（小瀬川）
- ★洪水調節操作（洪水量に達したダム）<6ダム>
殿ダム（千代川）、苦田ダム（吉井川）、八田原ダム（芦田川）、土師ダム（江の川）、弥栄ダム（小瀬川）、島地川ダム（佐波川）



※1『特別防災操作』とは、ダム下流の更なる被害軽減を行うため、今後の予測雨量、ダムの残りの貯水容量等を勘案しながらダムの貯水容量を可能な限り有効活用し、放流量を通常よりも減じる操作。

※2『事前放流』とは、大雨となる場合、大雨の時に多くの水をダムに貯められるよう、河川の水量が増える前に利水容量から放流して一時的にダムの貯水位を下げしておくこと。



※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

2. 主な河川における雨量・水位の状況

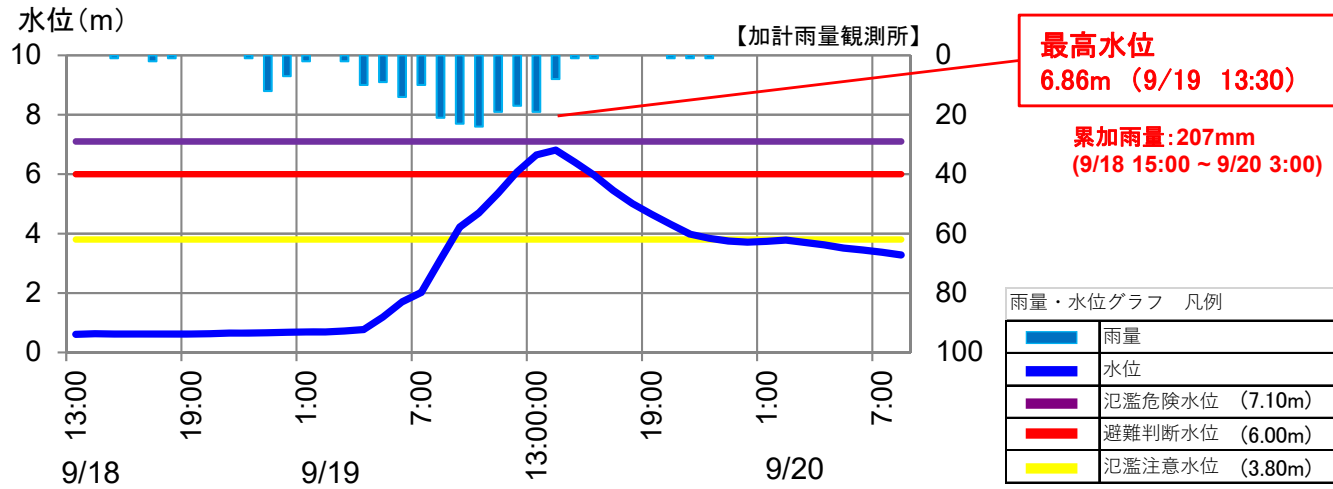
- ・ お お た が わ
太田川
- ・ お ぜ が わ
小瀬川

2)太田川の状況(太田川水系太田川 飯室地点)

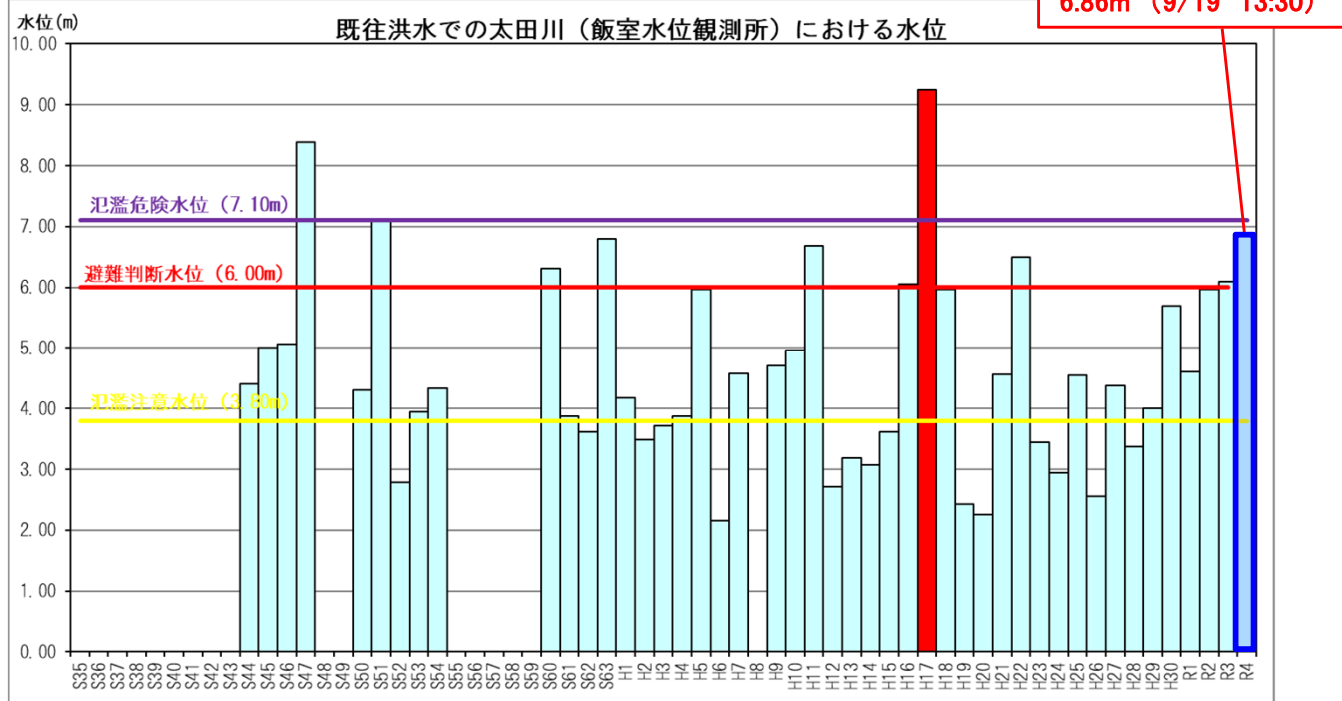
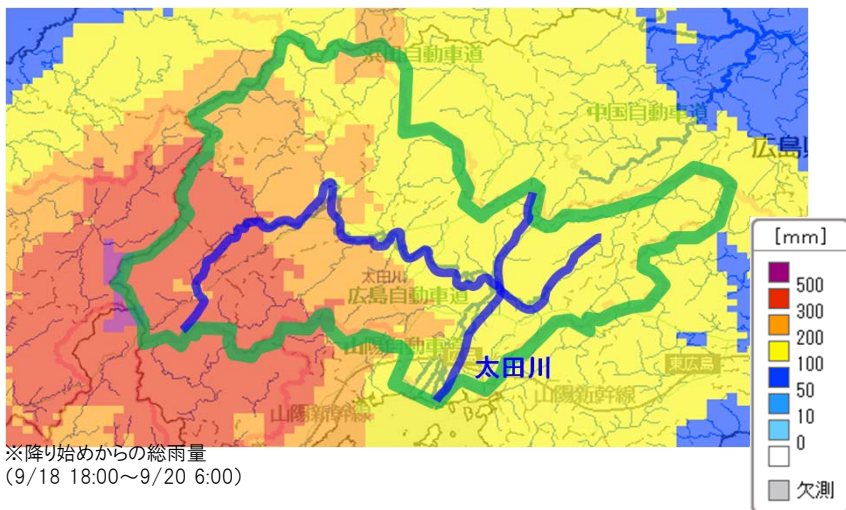
■ 太田川水系太田川 飯室地点において、避難判断水位(6.00m)を超過し、最高水位6.86mを記録しました。



■太田川水系太田川 飯室水位観測所



■ 累加雨量図 (Cバンドレーダ) 【国土交通省作成】



※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

2)太田川の状況(CCTV映像)

太田川水系太田川(吉山川合流付近) 平常時



9月19日 14時頃



太田川水系太田川(飯室観測所付近) 平常時



9月19日 14時頃

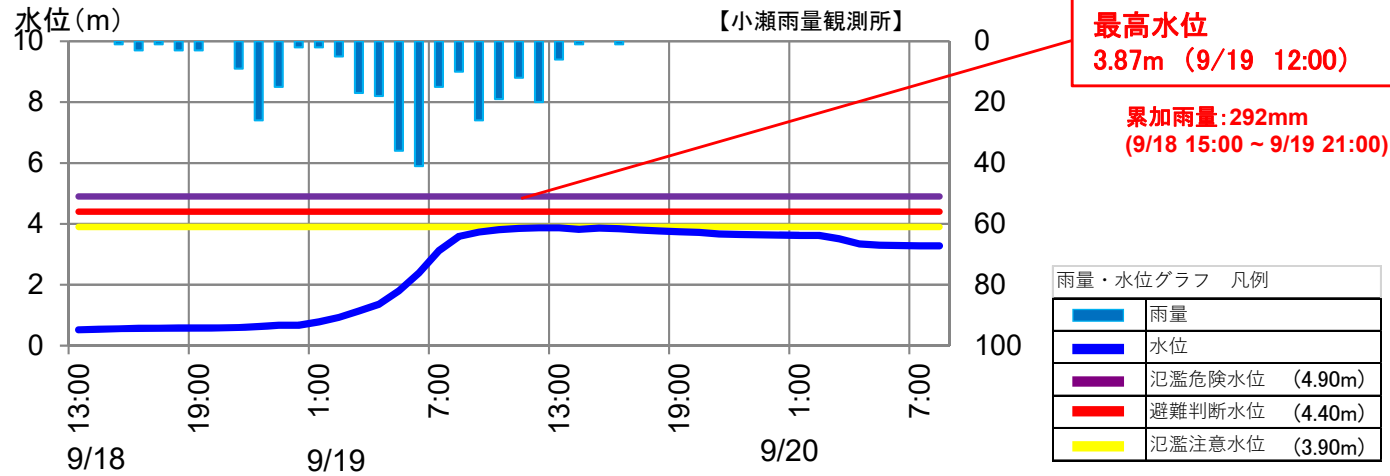


3)小瀬川の状況(小瀬川水系小瀬川 両国橋地点)

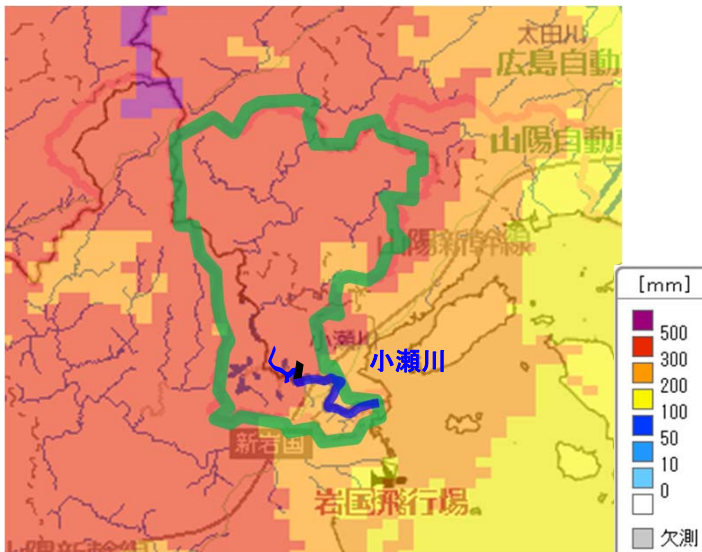
■ 小瀬川水系小瀬川 ^{りょうごくほし} 両国橋地点において、氾濫注意水位(3.90m)に迫る、最高水位3.87mを記録しました。



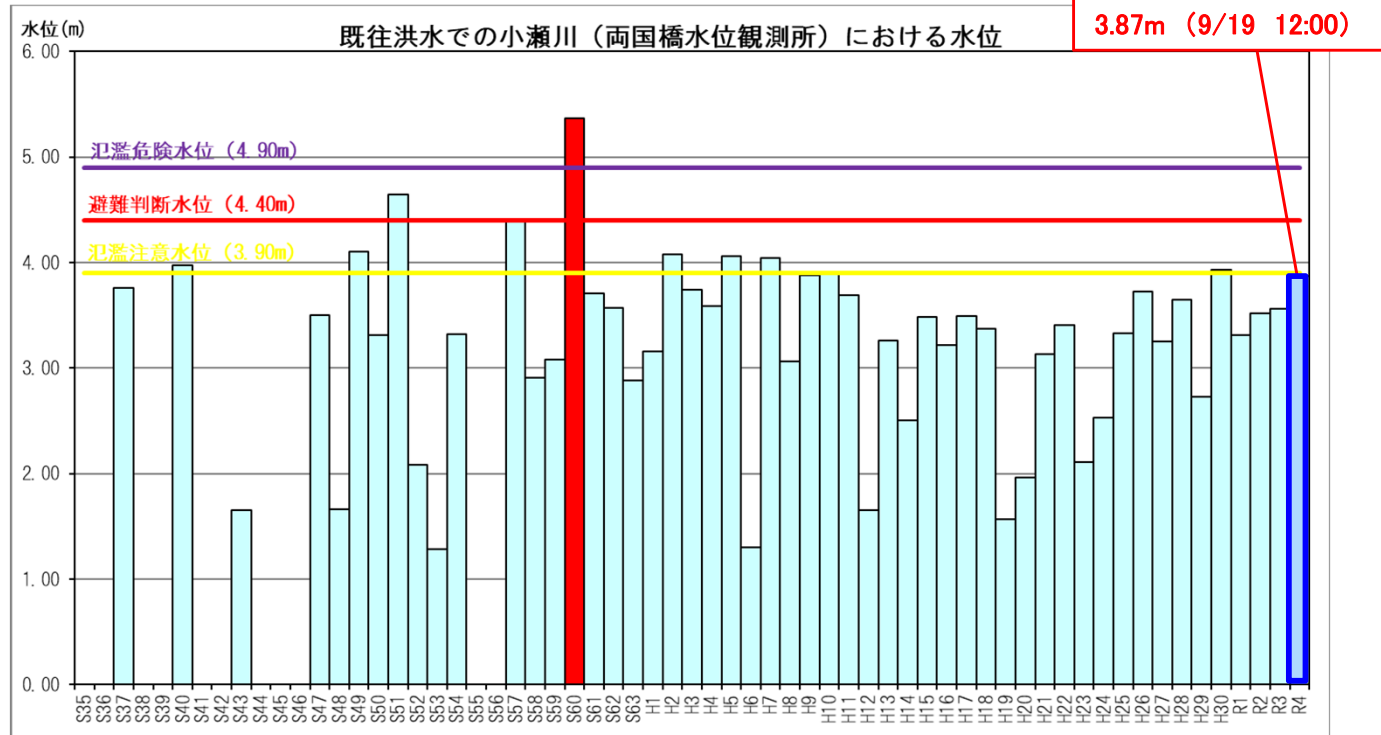
■小瀬川水系小瀬川 両国橋水位観測所



■累加雨量図 (Cバンドレーダ) 【国土交通省作成】



※降り始めからの総雨量
(9/18 18:00~9/20 6:00)



※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

3)小瀬川の状況(CCTV映像)

小瀬川水系小瀬川(乙瀬橋上流付近) 平常時



9月19日 14時頃



小瀬川水系小瀬川(小瀬川出張所付近) 平常時



9月19日 14時頃



3. 被災状況について

お お た が わ

1) 太田川

1)太田川水系太田川中流部の被害状況 等

令和4年9月19日～台風14号被害状況 等



加計水位観測所 太田川 左岸 57.4k

太田川 57.4k 右岸を臨む
ピーク水位付近 (9月19日12時20分)



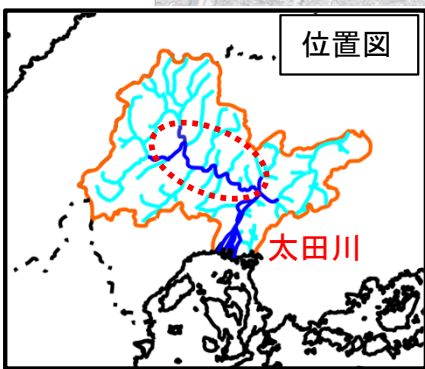
土居水位観測所 太田川 左岸 69.3k

太田川 69.3k 右岸を臨む
ピーク水位付近 (9月19日12時20分)



飯室水位観測所 太田川 左岸 29.4k

太田川 29.4k 右岸を臨む
ピーク水位付近 (9月19日13時20分)



位置図

太田川

※ 数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。



太田川 左岸32.0k (広島市安佐北区)
溢水(国道191号 冠水) 約0.2ha
⇒解消



太田川 右岸28.2k
内水 約0.17ha



太田川 右岸26.4k (広島市安佐北区)
溢水(県道177号 冠水) 約0.1ha
⇒解消



太田川 左岸21.0k
内水 約0.03ha

- … 溢水箇所
- … 内水箇所
- … CCTV画像

4. 避難に係る情報提供・被災状況調査

「逃げ遅れゼロ」を目指した取組 広島地方気象台と中国地整の合同記者会見

- 令和4年9月台風第14号の接近により、9月17日に広島地方気象台と中国地方整備局の合同記者会見を実施し、地元報道機関から参加がありました。
- 18日から19日にかけての台風進路や規模等の見通しについて解説を行い、警戒を呼びかけました。
- 中国地方整備局からは、河川等による災害に関する注意喚起やダムへの事前放流の状況、台風接近による道路や港湾施設への影響について説明を行いました。

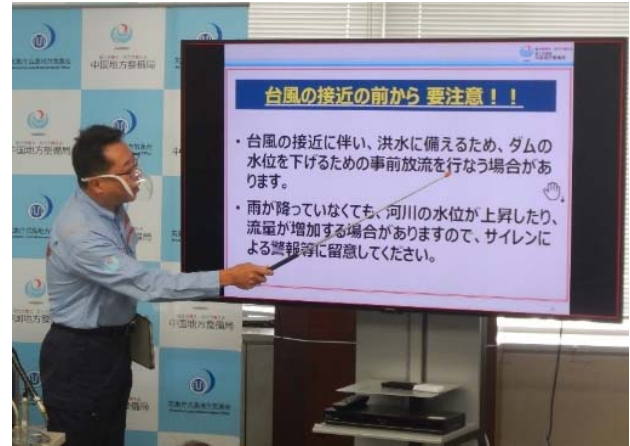
実施日時： 9月17日(土) 14:30～
場 所： 広島地方気象台



広島地方気象台と中国地方整備局の合同記者会見



広島地方気象台からの台風の見通し説明

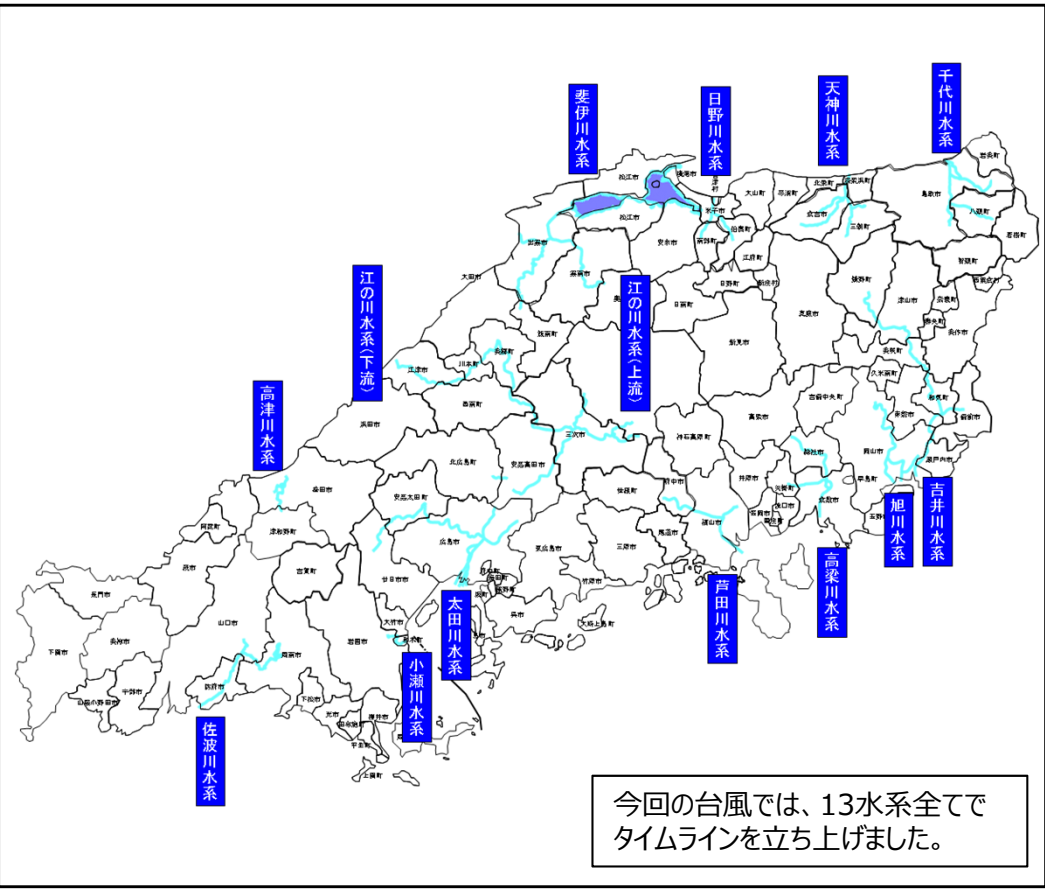


中国地方整備局からの注意喚起

水害対応タイムラインの活用

■ 災害発災前の危機感共有と、的確な事前防災行動を取るための防災行動計画（水害対応タイムライン）を、中国地方整備局管内の**全一級水系（13水系）**において立ち上げました。各河川において、水位に応じたタイムラインレベルを運用し、各レベルで定められた防災行動を実施しました。

- **水害対応タイムライン**とは、災害の発生が予想される際に時間軸に沿って防災関係機関が取り組むべき項目を定めた、共通の防災行動計画。
 - 台風及び前線性の降雨に対応し、災害発生への恐れがある3日前に行動を開始。
 - 気象情報の見通しなどWeb会議ツール等による危機感の共有。
- 【連携する機関】
国、流域内の地方自治体、ダム管理者、交通機関、ライフライン事業者、報道等



■ 太田川水系では台風14号の対応により、レベルステージ4（避難）まで上がりました。
【太田川水防タイムラインでの動き】

Web会議で危機感の共有とタイムラインの立ち上げを決定（レベルステージ1）

Web会議実施状況

警戒(レベルステージ2)

- 洪水予報の発表
- 水防警報発令・自治体への注意喚起 など

早期避難(レベルステージ3)

- 避難判断水位到達
- ホットラインの実施（事務所長→区長） など



高齢者等避難の発令、避難所の開設

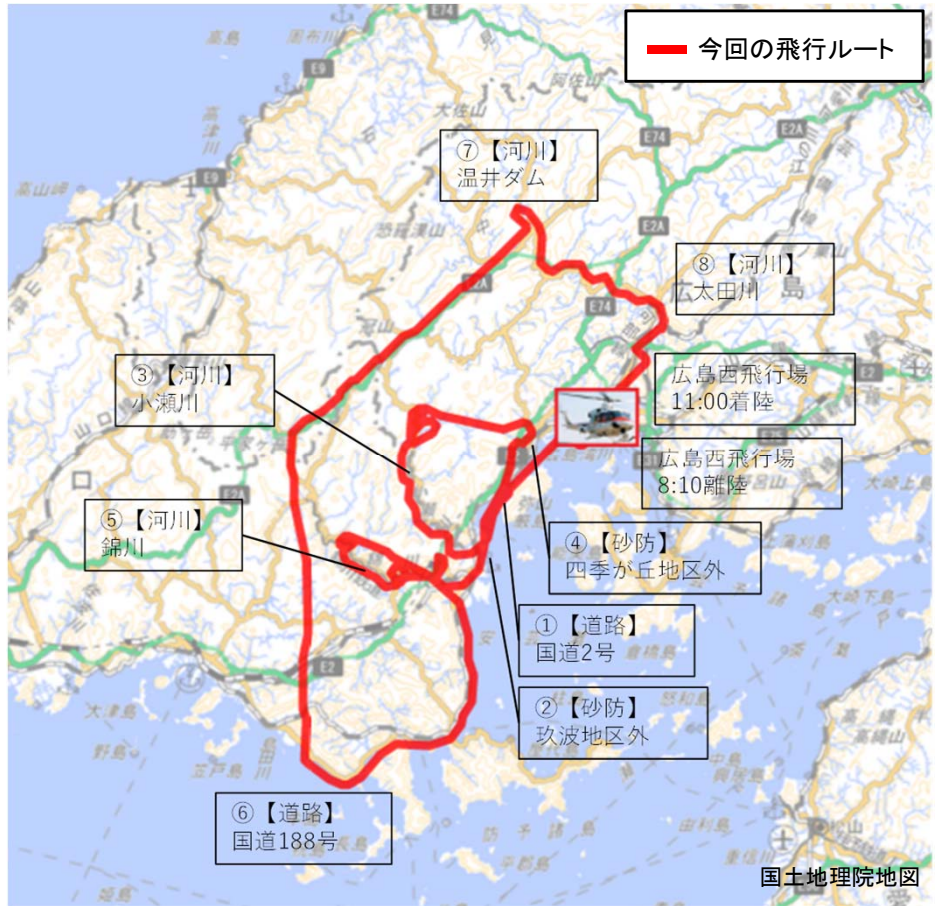
避難(レベルステージ4)

- 土砂災害警戒情報の発表 など

避難指示の発令

災害対策用ヘリコプター「おりづる号」による被災状況調査

- 迅速な被災状況調査のため、9月20日、災害対策用ヘリコプター「おりづる号」で、約3時間の調査飛行を実施しました。
- 今回の調査においては大きな被災は確認されませんでした。
- 災害対策本部へ、リアルタイムで映像と調査状況を伝えました。



災害対策用ヘリコプター「おりづる号」



上空からの調査状況



【ヘリ画像】弥栄ダム



【ヘリ画像】砂防状況(八木地区)



【ヘリ画像】河川状況

5. 治水事業の効果について

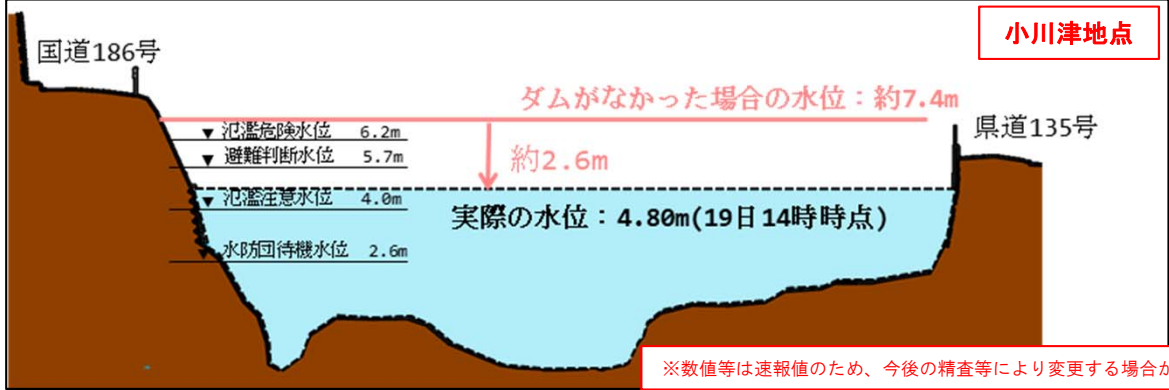
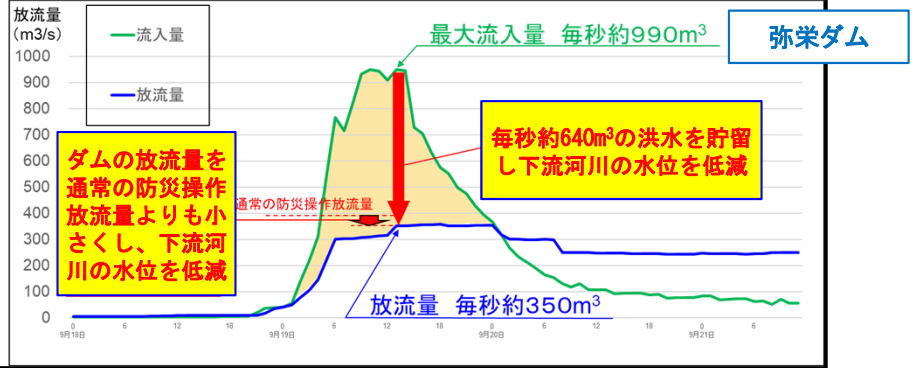
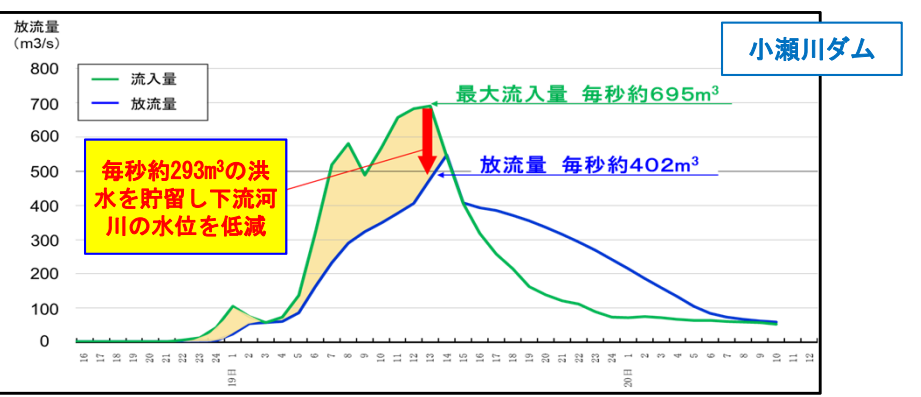
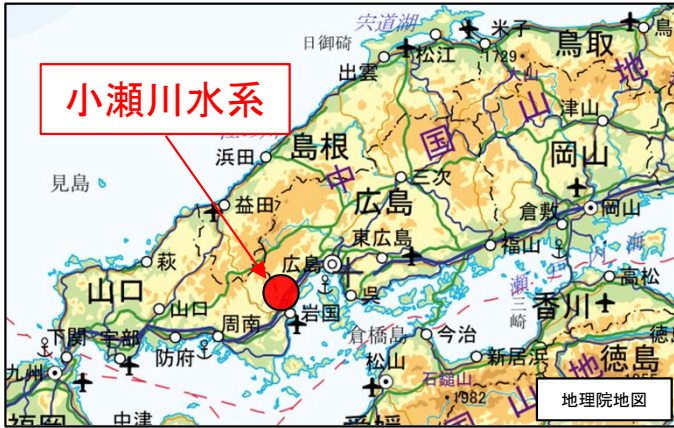
河川改修やダムへの洪水調節等による治水効果(太田川水系太田川)

- 令和4年9月台風第14号により、太田川流域の加計雨量観測所では平年の9月1ヶ月分を超える雨量を観測。
- 太田川では平成17年9月台風第14号による浸水被害を受け、平成17年から中流部において輪中堤整備等を集中的に実施し、国土強靱化予算により河道掘削、内水氾濫が頻発していた矢口川では排水機場増強を実施。
- 各治水対策及びダムの事前放流や洪水調節により、令和4年9月台風第14号では家屋浸水や市街地の内水被害を防止。



ダムの洪水調節等による治水効果(小瀬川水系小瀬川)

- 令和4年9月台風第14号の影響により小瀬川流域では令和4年9月18日から降り始め、**流域平均累加雨量は377mm**を観測。
- 小瀬川ダム(広島県・山口県)、渡ノ瀬ダム(中国電力(株))では事前放流を行い、ダムの空き容量を確保した。
- ダムの事前放流や洪水調節により小川津地点では**約2.6mの水位低減効果**が図られた。この効果により、浸水被害を防止したと想定。



※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。